

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第2部門第4区分  
 【発行日】平成19年10月25日(2007.10.25)

【公開番号】特開2006-192617(P2006-192617A)  
 【公開日】平成18年7月27日(2006.7.27)  
 【年通号数】公開・登録公報2006-029  
 【出願番号】特願2005-4352(P2005-4352)  
 【国際特許分類】

**B 4 1 M 5/00 (2006.01)**

**B 4 1 M 5/50 (2006.01)**

**B 4 1 M 5/52 (2006.01)**

【F I】

B 4 1 M 5/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月10日(2007.9.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

吸水性支持体の少なくとも片面に下塗り層、インク受理層の塗液を順次、塗工・乾燥して形成されてなるインクジェット記録材料において、該下塗り層が無機微粒子として平均二次粒子径が1.2～12 $\mu$ mの湿式合成シリカ及び平均一次粒子径が5～100nm且つ平均一次粒子径と平均二次粒子径の粒子径比率が1対1～1対3であるコロイダルシリカ、親水性バインダー、ホウ酸またはホウ酸塩を含有し、湿式合成シリカとコロイダルシリカの質量含有比率が10対1～10対20であり、該インク受理層が、平均一次粒子径が10～30nm、平均二次粒子径が50～300nmの無機超微粒子、親水性バインダー、ホウ酸またはホウ酸塩を含有し、且つインク受理層表面が光沢発現処理することなくJIS Z 8741による75度鏡面光沢度が40%以上となることを特徴とするインクジェット記録材料。

【請求項2】

前記下塗り層の塗液のpHが8～12であり、前記コロイダルシリカの懸濁液のpHが6～12であることを特徴とする請求項1記載のインクジェット記録材料。

【請求項3】

前記インク受理層の平均塗層密度が0.8～1.3g/cm<sup>3</sup>且つ前記インク受理層の空隙量が7ml/m<sup>2</sup>以上であることを特徴とする請求項1または2記載のインクジェット記録材料。